

## 「愚痴聞き地蔵」からノリタケの森へ

猛暑のなか学生を「愚痴聞き地蔵」に案内した。お盆後なので、お地蔵さんはいつもより「おめかし」していた。就職試験を終えた学生も、日ごろの愚痴を聞いてもらっていた。今年一番の猛暑の日であったが、狭い境内は涼しげであった。



テレビで「愚痴聞き地蔵」を知ったが、番組で登場していたのが隣にある予備校の職員だったように思う。仕事のあいまに、お地蔵さんの前で愚痴を聞いてもらっていた。その予備校が倒産したのをニュースで

知った。予備校の玄関は板で閉鎖されていた。高額の授業料を納めた生徒たちのことが気にかかる。番組に登場していた職員は、何回か愚痴を聞いてもらいに来ているのであろうか。

「愚痴聞き地蔵」から那古野の再開発地(超高層のオフィスやマンション)を通して、ノリタケの森に向かった。去年は調査実習のヒアリングやアンケートでお世話になった。夕暮れ時なのにカンカン照りであり、「森」の散策もほどほどに冷房がきいた展示コーナーに向かった。

豪華な陶磁器などをじっくり鑑賞することができた。セラミックスが広範囲に利用されていることなど、あらためて知った。



前にもレポートしたが、ノリタケの森はレンガの工場や煙突など、なかなかの景観であり、大切にしたいものだ。ここから「ルーセントタワー」に向かったが、アクセスや周囲の景観など相変わらず「注文」をつけたくなることが多い。

(2007年8月19日 記)